

文化ベンチャーアクションプラン

「京の文化振興プラン～文化力による京都活性化について～」関連アクションプラン

平成18年12月

京都府府民労働部

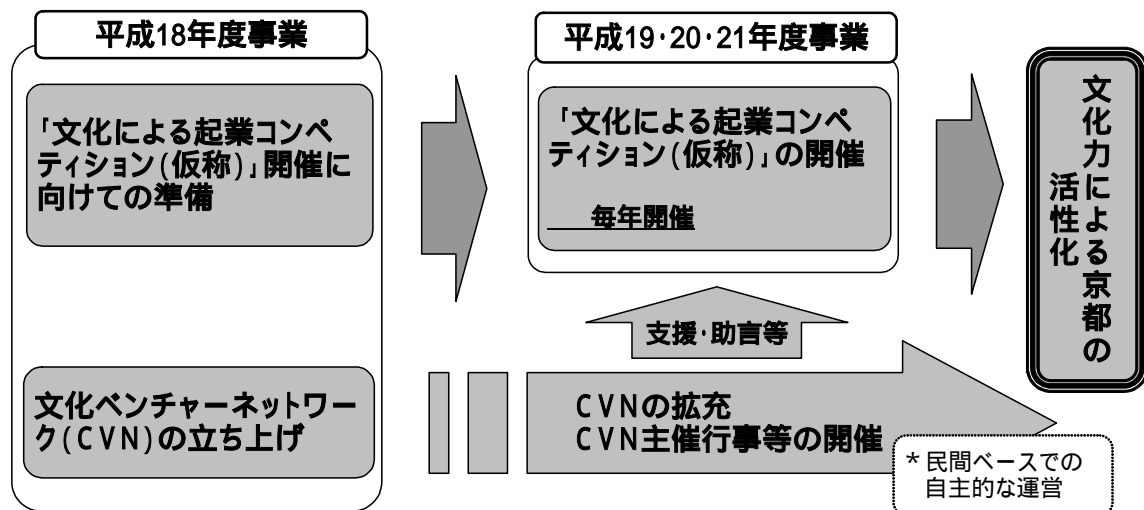
プランの目的

平成16年12月に策定した「京の文化振興プラン～文化力による京都活性化について～」の重点施策を事業化するとともに、平成17年10月に制定した「京都府文化力による京都活性化推進条例」に基づく起業への支援を行う。

平成19年度から開催予定の「文化による起業コンペティション(仮称)」や文化ベンチャーの支援・助言等を実施する「文化ベンチャーネットワーク」の役割を明記する。

事業スケジュール

「文化による起業コンペティション(仮称)」及び「文化ベンチャーネットワーク」については、次のスケジュールで事業を進めていく。



具体的施策

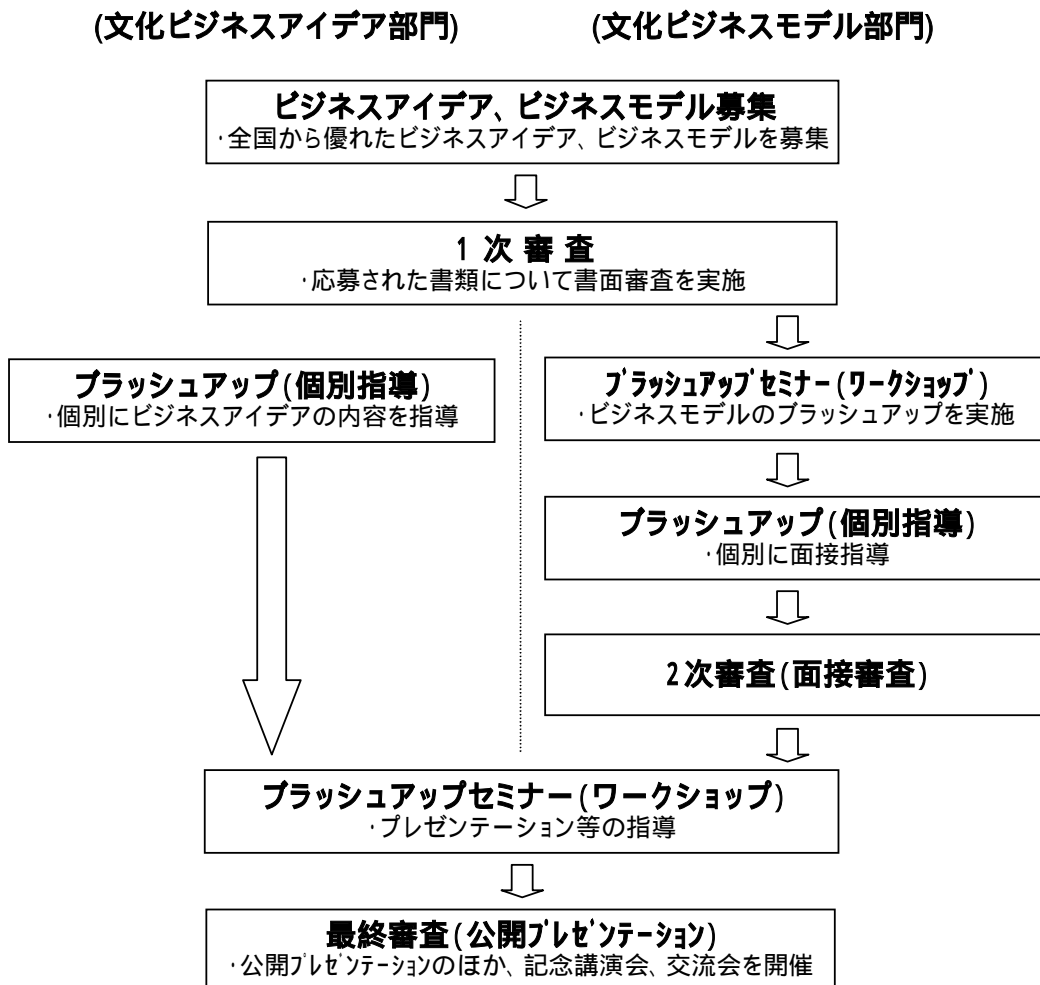
1 文化による起業コンペティション（仮称）

（1）目的

これまで培ってきた京都の文化を新たな角度から捉え、文化を活かして独創的なアイデア等を生み出すことにより、京都全体の文化力を向上するとともに、京都の魅力を国内外に発信する。

起業家と優れたビジネスアイデア、ビジネスモデルの発掘や、投資家等とのビジネスマッチング等を通じて、文化を使った新たなマーケット創出気運を醸成し、あわせて文化振興を図る。

（2）基本スケジュール



(3) 事業概要

| | |
|-----------|--|
| 募集内容 | 文化資源や文化芸術の力を活用したビジネスアイデア・ビジネスモデルで、社会に対して新しい文化的インパクトを与えるもの 幅広く文化を対象としつつ、「伝統的文化」から「新たなライフスタイルの提案につながるもの」までを含む。 (内容例として、「文化ベンチャー事例」の一覧等を募集時に添付) |
| 募集部門 | <文化ビジネスアイデア部門> 具体的な事業計画までは至っていない、または自ら起業までは目的としないが、新規性及び独自性の高いアイデアであるもの <文化ビジネスモデル部門> 起業を目的とし、起業内容(事業計画)が具体化されているもの、または具体化しようとしているもの |
| 募集対象 | 全国公募。個人、グループ、法人、現住所、国籍等、一切制限しない。ただし、京都府内で事業を実施する、もしくは京都に何らかの関わり(京都の素材や人材を活用、京都において事業展開等)があること |
| 募集期間 | 約4か月間(例:5月中旬~9月中旬) |
| 広 報 | 新聞、雑誌、ホームページなどに募集広告等を掲載 応募・受賞者への追っかけ取材、事業ドキュメント取材 など |
| 実行委員会 | 大学、経済団体、行政機関、NPO など(事務局:京都府) |
| 審査方法 | <文化ビジネスアイデア部門> 1次審査(書面審査)、最終審査(公開プレゼンテーション) <文化ビジネスモデル部門> 1次審査(書面審査)、2次審査(面接審査)、最終審査(公開プレゼンテーション) |
| 審査通過者への支援 | 1次審査通過者に対して、担当者が最終審査までの間、様々な支援(相談対応、ブラッシュアップセミナーなど)を行う。 |
| 審 査 員 | 文化分野、経営分野の専門家等(部門で審査員は一部異なる。) |
| 後 援 | 行政機関、金融機関、マスコミなど |
| 賞・特典 | <文化ビジネスアイデア部門> 最優秀賞 1名 優秀賞 1名 奨励賞 数名 スポンサー賞 数名(協賛・実行委員会構成団体による賞) <文化ビジネスモデル部門> 最優秀賞 1名 優秀賞 1名 スポンサー賞 数名(協賛・実行委員会構成団体による賞) 各賞とも、賞金以外に、文化ベンチャーネットワークを中心として、起業に向けた様々なサポートを行っていく。 |

2 文化ベンチャーネットワーク (Culture Venture Network = CVN)

(1) 目的

「文化による起業コンペティション(仮称)」の実施への参画、コンペティションの優秀者や文化ベンチャーをサポート(出資、資金提供、事業協賛、販路拡大、業務提携、広報活動協力、経営上の助言など)することを目的に活動する。

(2) 立ち上げ

平成18年6月28日

(3) 会員

文化芸術、経済、大学、NPOなど幅広い分野の関係者
55名(団体)(今後、拡充予定)

(4) 事務局

京都府(将来的には民間に移行)

(5) 活動内容

文化ベンチャーネットワークのコアメンバーは、「文化による起業コンペティション(仮称)」へ、実行委員会や審査員として参画する。

コンペ受賞者が起業するにあたり様々な支援を行う。また、ネットワーク構成団体の中から具体的なニーズ(課題・テーマなど)を示して、それを解決するためのビジネスアイデアも求めていく。

ネットワークの中で、文化により起業する者とネットワーク構成団体との間にコーディネートする者を設ける。このコーディネーターは、インキュベーションマネージャーや文化に精通している者、経営に精通している者、行政関係者などで構成するチーム体制とし、きめ細かく効果的な支援を行う。

講演会・交流会などの主催行事を開催する。

文化ベンチャーの事業に関する情報提供・啓発(ホームページ、メールなど)を行う。

文化ベンチャーネットワークの支援イメージ図は次ページのとおり

文化ベンチャーネットワーク (CVN) 支援イメージ

